

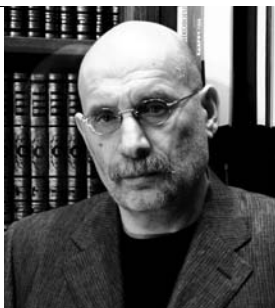
2009年度

国際交流基金賞

受賞者発表

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は、1973年以来毎年、学術・芸術など文化活動を通じて日本と海外の相互理解の促進に顕著な貢献のあった個人または団体に対し、「国際交流基金賞」を授賞しています。このたび2009年度の受賞者3名が決まりましたので、ここに紹介します。

国際交流基金賞 文化芸術交流部門



ボリス・アクーニン

Boris Akunin

本名：グリゴリー・チハルチシヴィリ

【ロシア】
作家

ロ シアのベストセラー作家。日本文学研究
者・翻訳者として、日本文学をロシアに紹
介することにも、推理小説シリーズをはじめと
する多彩な執筆活動において日本文化の紹介に
貢献し、また、ロシアを代表する文化人の一人
として日露文化交流に貢献してきた。

国際交流基金賞 日本語部門



全米日本語教師会連合

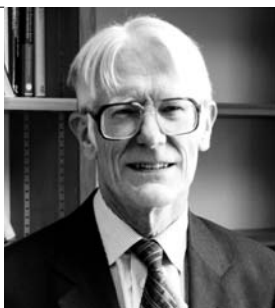
Alliance of Associations of Teachers of Japanese [AATJ]

【米国】

代表：スーザン・シュミット(事務局長)

米 国の日本語教育団体。全米規模の日本語
教育団体の連合体として、各団体の活動
の調整を行なうことにも、研修事業や情報交流
事業を実施することによって、初・中・高等教育段
階から高等教育段階におよぶ米国における日本
語教育の発展に大きく貢献してきた。

国際交流基金賞 知的交流部門



アーサー・ストックウィン

Arthur Stockwin

【英国】

オックスフォード大学

日産日本問題研究所前所長

英 国を代表する日本研究者として現代日本
政治の研究において優れた業績を挙げ、英
国における日本研究を促進することにも、オッ
クスフォード大学日産日本問題研究所前所長と
して対日理解の促進と日英の学術交流に大きく貢
献してきた。

*受賞者による記念講演会を10月7、9日に開催する予定です(74ページ参照)。